



「花祭り」は灌仏会（かんぶつえ）というのが本来の名前です。

甘茶
 ガクアジサイの変種であるアマチャの葉を、9月頃にとり、水で洗ひ日干しをし、むしろをかけて発酵させます。むしろに広げ、よく揉んでから乾燥すれば甘茶のできあがりです。
 そのままではやや苦いだけの葉っぱがこうして手を掛けて、砂糖の数百倍もの甘味のある甘茶に変化します。
 その甘みから、花まつり以外にも、漢方薬の苦み消し、糖尿病患者の砂糖代わりや歯磨きの甘味、しょうゆの味付けなどに使われています。薬としては、抗アレルギー作用・歯周病に効果があるそうです。



〜等観寺の「花まつり」にお参りしました〜
 今年も4月8日にデイサービスの皆様でお参りに行きました。午後からは厚生学童部の子どもたちも始めておまいりしました。みんなの心には残るものがあつたでしょう。御住職様ありがとうございます。

ちよつといい話

伊勢市教育委員会編集の「人権の芽・作文集22年度」にデイサービス御利用者の小学2年生お孫さんの文が掲載されました。その『ぼくがおばあちゃんのつえ』の一部を紹介します。



「ぼくがおばあちゃんのつえになればちよつど良い高さなので、いつもぼくのかたをつかってもらいます。まい日やっていると、かたがいたく、たまにはシツプをはっている時もあります。だけど、お父さんや妹がすると、高さがあわないので、どうしてもぼくがやるしかないのです。……つかれるけど、ぼくは、おばあちゃんのためならなんだってします。……これからも「おばあちゃんのためにがんばります。ぼくにとつておばあちゃん、たいせつな人です。おばあちゃんが大好きです。」

このお寺は400年前にできたお寺です



ご本尊にも手を合わせて！



真剣な顔でお釈迦様に甘茶を注ぎました。

初めてのむわ！
 ふしぎなお茶やなー

甘すぎて、苦手やー

わーっすごく甘い！
 始めはお茶の味やけど後からあまいなあ



私は前に飲んだことあるよ

お茶があまいのかな？

〜藍ちゃんの家の下種祭〜
 今年稲を育ててみよう！と、神官の行事をならい始めました。
 三月三十一日に伊勢音頭の講師に来ていただき、慣れ親しんだ曲なので、一緒に歌い、踊り楽しい時間を過ごしました。
 まず下種祭です。田を耕す鋤を作るところから始め、種をまく神事です。
 皆で稲の種を蒔くと、経験のある方からは、アドバイスをいただいたり、昔話に花が咲きました。
 二十四粒のみから、大人一日分の米がとれるそうです。

